

令和4年度 第5回 青森支部評議会の概要報告（速報）

開催日時	令和5年1月16日（月）13：30～15：30
開催場所	全国健康保険協会青森支部会議室
出席評議員	秋田谷評議員、大坂評議員、今評議員、神評議員、長根評議員、藤沼評議員、前多評議員（五十音順） 委任：木村評議員、吉田評議員
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度青森支部保険料率について 2. 令和5年度青森支部事業計画（案）について 3. 令和5年度青森支部保険者機能強化予算（案）について
議事概要 （主な意見等）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>議題1について、事務局より資料に基づき説明。</p> </div> <p>●令和5年度青森支部保険料率について</p> <p>【学識経験者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国一律の介護保険料率について、非常に上がり下がりがある。単年度での収支均衡は理解するが、やはり医療分と同じように中長期的に保険料率が安定していく必要があるのではないかと。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料率の設定については、現行の制度上容認していただくこととなるが、収支均衡の中でも安定した介護保険料率を求めるとご意見が出たことを意見書に付して協会本部に提出したい。 <p>【被保険者代表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森支部としては介護保険料の上昇分を含めても保険料が下がることについては喜ばしいことだが、一方で保険料の負担が増える支部もあるということは考えなければならない。インセンティブ制度については、試験的に導入され、それぞれの支部の意見を踏まえながら検討していくということになっていたが、それでよろしいかと。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インセンティブ制度の在り方については、令和3年度に評議会において議論してきた。令和4年度の実績については令和6年度分の保険料率に反映され、減算対象は上位23支部から15支部、各評価項目についてはより実態に合うように見直しが行われた。令和3年度の実績については38位ということで、残念ながらインセンティブを受けることはできなかったが、引き続き、評価項目を重視した事業を進めていきたい。

【学識経験者】

- ・行動変容を促していくためにも、広報活動が重要になってくるので力を入れていただきたい。

【事業主代表】

- ・ジェネリック医薬品の使用割合について、現在どのような状況であるのか伺いたい。

(事務局)

- ・8月診療分で83.1%、全国で11位である。今年度のKPIは82.5%なので、現状では超えている。

【議長】

・令和5年度の青森支部の保険料率は下がることとなるが、今後も青森支部加入者の医療費上昇を抑制することで、保険料率の伸びを極力抑えていく必要がある。そのためにも、インセンティブ制度の評価項目の中心である保健事業にしっかりと取組み、加入者の行動変容を促し、その結果が保険料率に反映できるようお願いしたい。また、加入者・事業主の取組みで保険料率が下がるということの周知をはじめとした行動変容を促すための広報に注力いただきたい。以上を評議会の意見としてよろしいか。

(出席評議員の了承を得る)

議題2について、事務局より資料に基づき説明。

●令和5年度青森支部事業計画（案）について

【学識経験者】

- ・コラボヘルスの推進の中に、「健康教育などを通じた若年期からの」という文言があるが、ここで言う若年期とは具体的に何歳くらいを想定しているのか。

(事務局)

・特に、若年期についての年齢が決まっているわけではない。青森県の場合、働き盛り層の40・50代の死亡率も高いことから、就労後の若年層もしくは就労前の段階からアプローチが必要になってくるかもしれない。

【学識経験者】

- ・データヘルス計画の中位目標で、喫煙対策が柱となっているが、生活習慣でいうと、食習慣や運動習慣、飲酒なども課題となってくるが、なぜ喫煙対策が柱なのか。

(事務局)

・健診受診時の問診において、喫煙状況は食習慣や運動習慣等と比べ全員の喫煙状況が把握できることが大きい。また、青森県の喫煙率は全国のトップクラスであり、生活習慣病をはじめとした様々な病気に大きな影響をおよぼす喫煙を対策の柱にしている。

【学識経験者】

・パイロット事業の効果検証について、事業への参加群と不参加群で比較するとの説明があったが、青森県トラック協会加入事業所の中で分けるのか、それとも他業種等と比較するのか教えていただきたい。

(事務局)

・現在、パイロット事業の進め方について協会本部と協議中であるが、トラック協会という同じ土俵の中で比較する必要があると考えている。

【事業主代表】

・青森県が短命県返上のアクションを行い、関係者の皆さんが随分と努力しているが、やはり直近データにおいても最下位であるという結果が出たときには、関わってきた人たちのモチベーションが下がったのではないかと感じている。どのような方法をとれば、青森県全体をより改善する方向に向かわせることができるのか現状の考えを伺いたい。

(事務局)

・2020年度の年齢調整後の平均寿命も青森県は全国最下位であり残念な結果であったが、男女とも前回調査から向上している。他県も向上しているためなかなか追いつかないのが実態である。一朝一夕では変わらないが、青森支部としても情報分析をし、その分析に基づいた事業を実施している。また次年度からは生活習慣病リスクが高い業種団体にアプローチしていくことが効果的であると考え、取組みを始めるところである。単一の医療保険者だけの取組みでは難しいことも多くあるため、医療関係や経済団体等とも更なる連携を目指し取組んでいきたい。

【事業主代表】

・青森県トラック協会と連携するとあったが、例えば建設業協会とか、他の業種にもぜひ働きかけをしていただきたい。

【議長】

・令和5年青森支部事業計画案について承認するという事でよろしいか。

(出席評議員の承認を得る)

議題3について、事務局より資料に基づき説明。

●令和5年度青森支部保険者機能強化予算（案）について

【事業主代表】

・「ショッピングセンターにおけるまちかど健診」はいつ頃、何か所くらいで行うのか。

(事務局)

・例年10月から1月に、ある程度大きい市を中心に、約30回くらい開催している。

【被保険者代表】

- ・まちかど健診の内容を教えてください。

(事務局)

- ・まちかど健診は、被保険者ではなく40歳以上の被扶養者を対象とした健診であり、特定健診の項目のみで、がん検診とかは含まれていない。まちかど健診の案内は、発送時において特定健診未受診の被扶養者を抽出し送付している。

【議長】

- ・令和5年青森支部保険者機能強化予算案について承認するという事によろしいか。

(出席評議員の承認を得る)

以上

特 記 事 項

- ・傍聴者 デーリー東北新聞社 陸奥新報社 東奥日報社
- ・次回は令和5年7月に開催予定